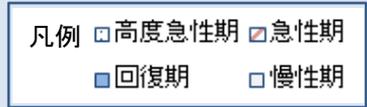


平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H28-29比較 <4機能別許可病床数>

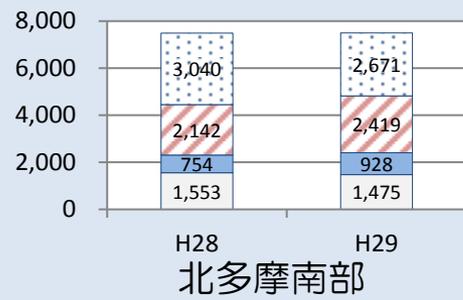
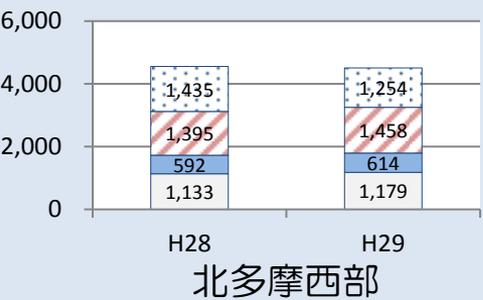
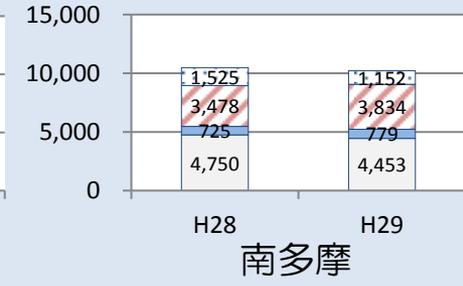
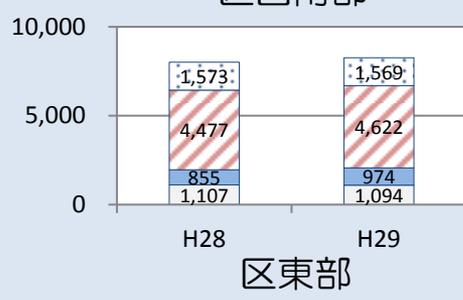
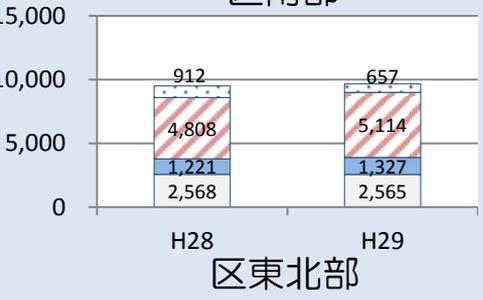
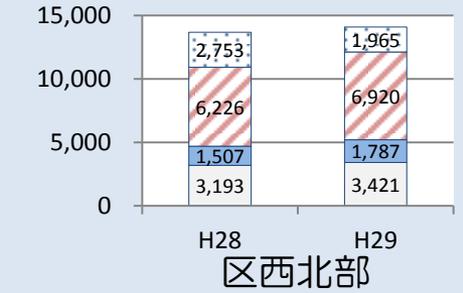
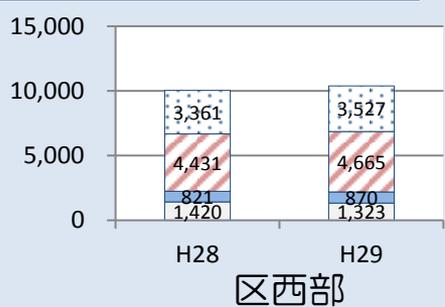
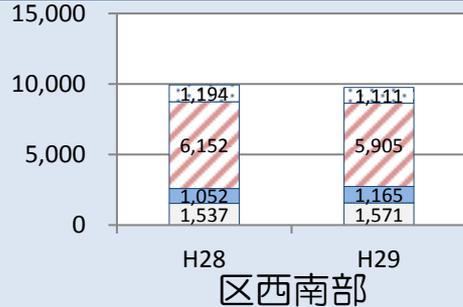
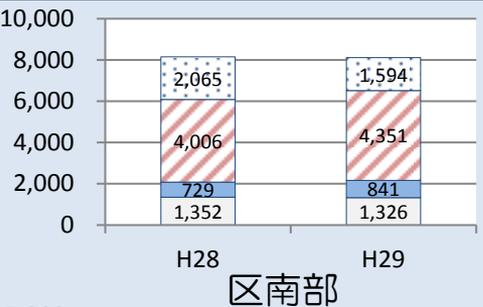


<結果の概要(東京都)>

○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

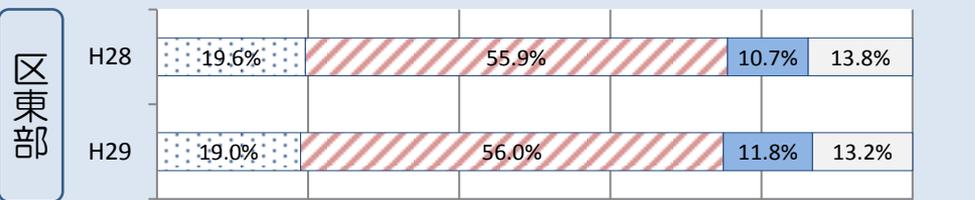
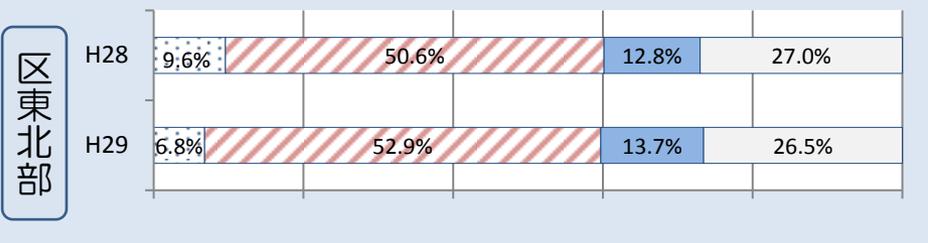
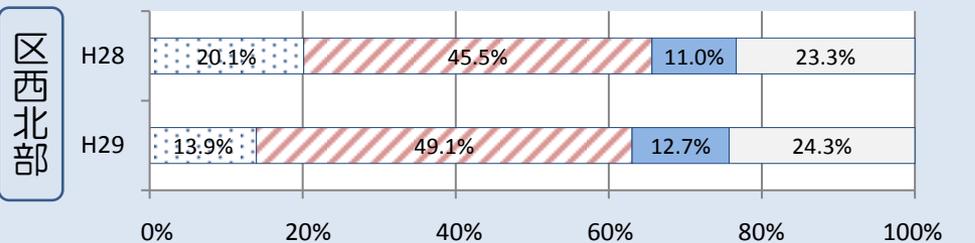
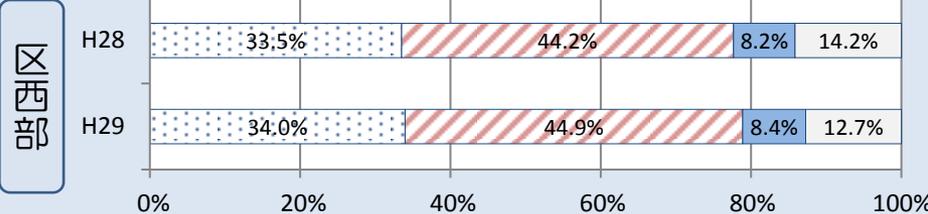
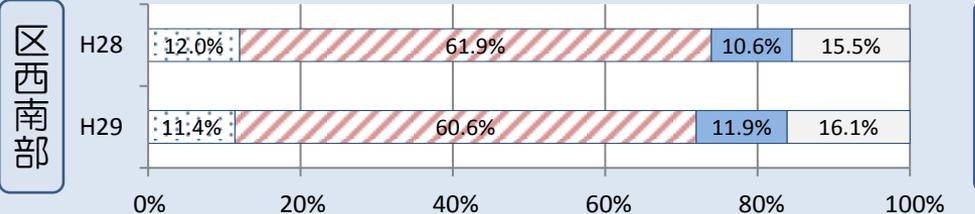
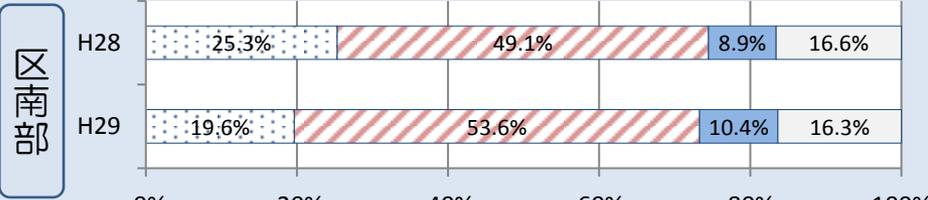
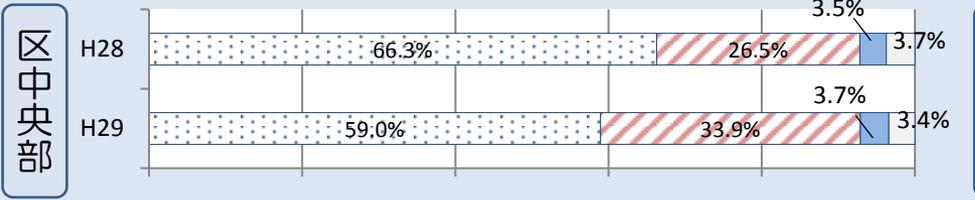
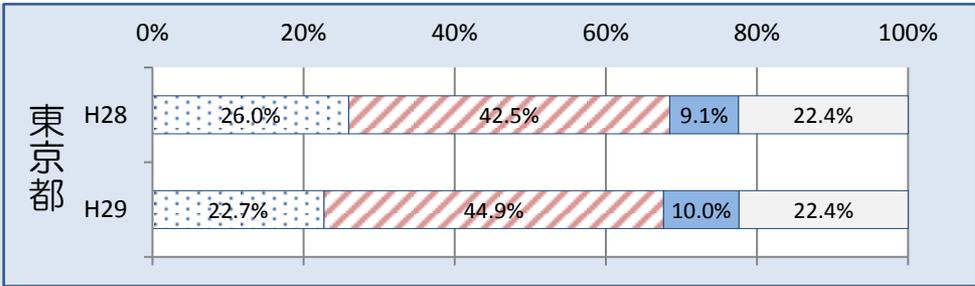
(機能別増減)

高度急性期機能	2,996床減
急性期機能	3,351床増
回復期機能	1,103床増
慢性期機能	334床増



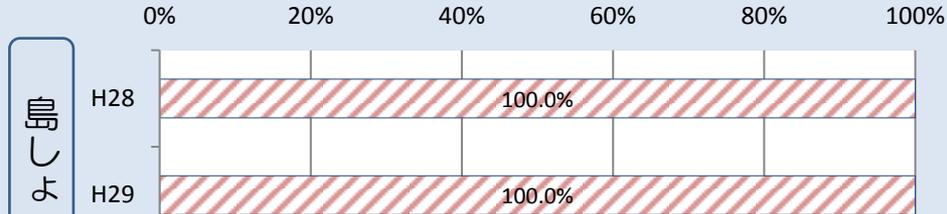
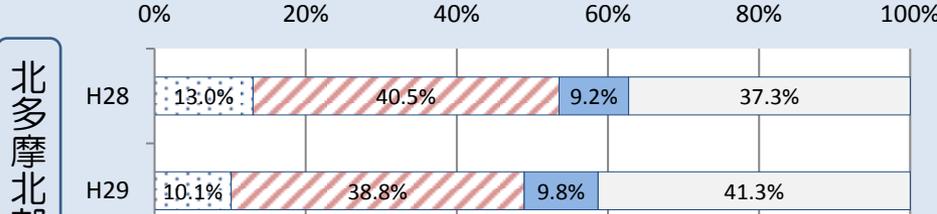
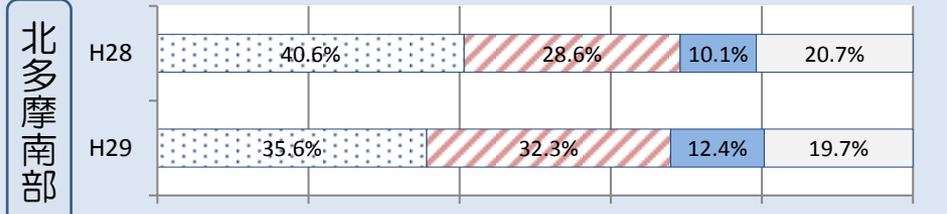
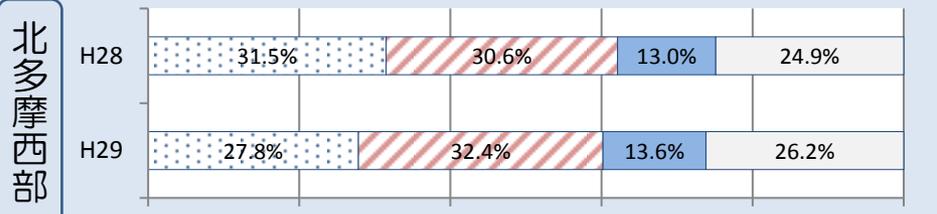
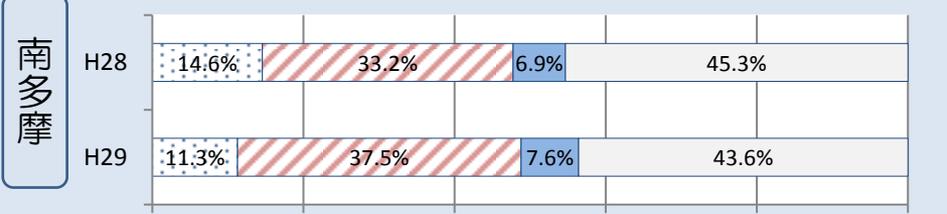
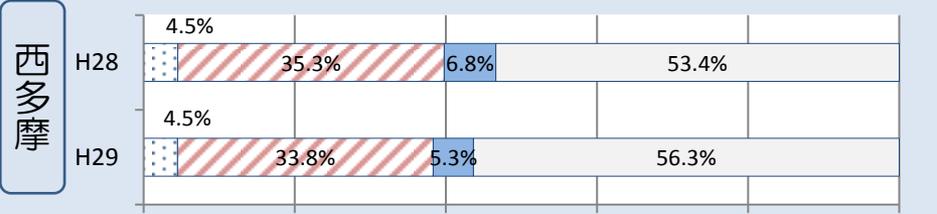
平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

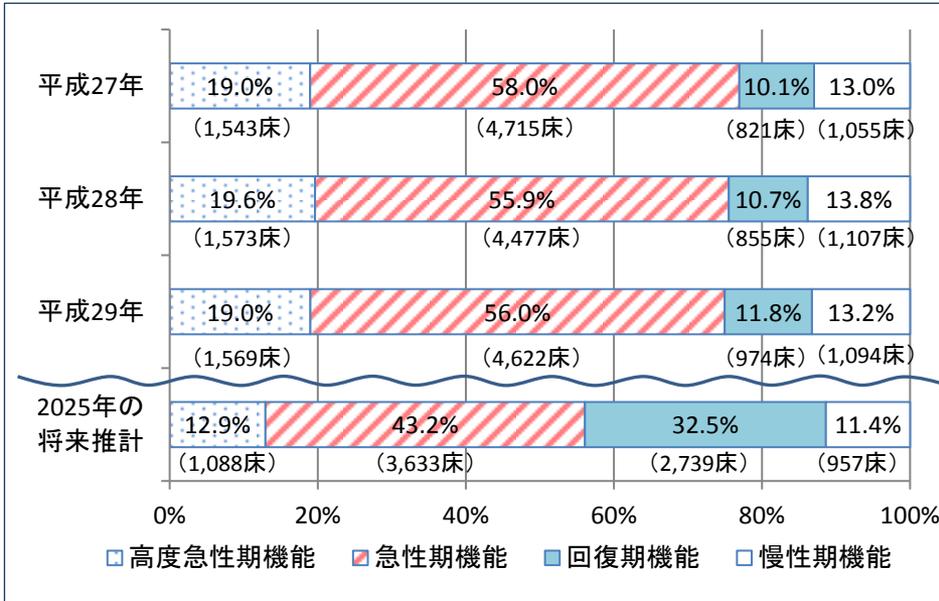
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



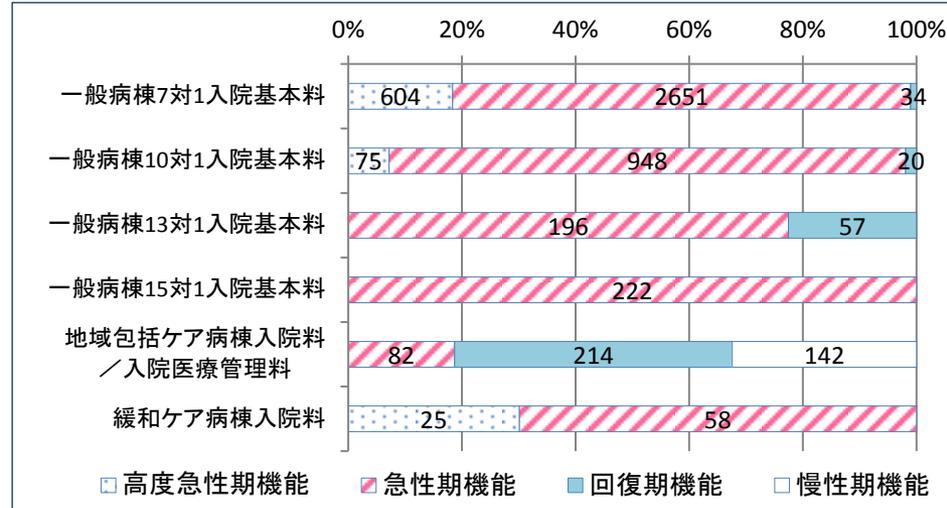
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

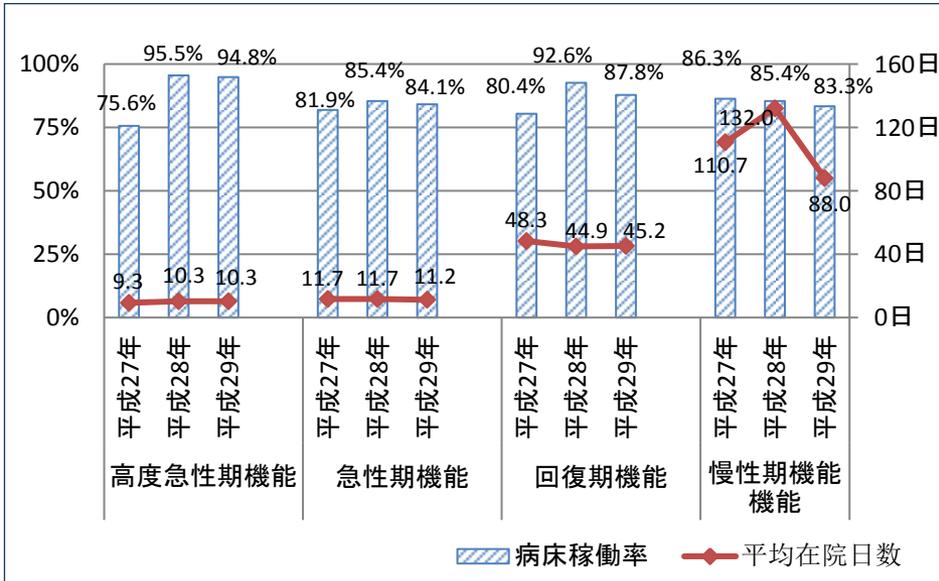
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

機能	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	3,306 (97.9%)	0 (0.0%)	65 (1.9%)	6 (0.2%)
急性期機能	7,477 (85.6%)	79 (0.9%)	206 (2.4%)	969 (11.1%)
回復期機能	346 (69.2%)	18 (3.6%)	90 (18.0%)	46 (9.2%)
慢性期機能	116 (44.6%)	2 (0.8%)	7 (2.7%)	135 (51.9%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 57.7%(前年度51.9%)

- ①急性期・回復期機能の病床数が増えている。
過去3か年で4機能別の報告割合に大きな変動がない。
- ②全機能で病床稼働率が下がっている。
慢性期機能では、在院日数が大きく減少している。
- ③地域包括ケア病棟で、回復期又は慢性期機能と報告した割合が高い。
- ④慢性期機能で、退院後の在宅医療実施予定が不明の割合が高い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が上昇しているが、都平均を下回る。